

令和5年度 芸術科「書道Ⅱ」シラバス	単位数	学年・学級	使用教科書
	2単位	第2学年1～6組 書道選択者	書道Ⅱ（書Ⅱ 703）教育出版

1 学習の到達目標および評価方法等

学習到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身につけるようにする。 2 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深くとらえたりすることができるようにする。 3 主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書をとおして心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
評価方法	<ol style="list-style-type: none"> 1 提出課題、学習過程、学習のまとめの内容、考査を中心に、用具・用材の扱い、主体的に取り組む態度も含めて総合的に評価します。 2 提出作品について、漢字仮名交じりの書においては、意図した表現に近づくことができたか、また漢字の書（臨書）においては対象となる古典の特徴を表現できたか、仮名の書（臨書）については基本的な用筆が習得でき対象となる古筆の特徴を表現できたか、作品制作では自分の意図した表現ができたかが評価の規準となります。
評価の観点	「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価する。

2 評価の観点、内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について理解を深めている。 ・書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための技能を身につけ、表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出作品 ・ワークシート ・学習記録による学習過程 ・考査
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深くとらえたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出作品 ・活動の様子 ・ワークシート ・学習記録による学習過程 ・考査
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に書の表現及び鑑賞の創造的な活動に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の様子 ・提出作品 ・ワークシート ・学習記録による学習過程

3 学習計画

月	単元	主な学習内容・教材
4	漢字の書の学習 一 篆書の学習	篆書の成立と歴史の変遷について理解を深める。 代表的な篆書の古典を鑑賞し、時代背景などに関する知的理解を図るとともに、臨書学習をとおして、各古典の特徴を把握し、篆書の効果的な表現の技能を身につけ、各古典の特徴と用筆・運筆の関わりについて理解する。
5	二 篆刻・刻字の学習	篆書の学習と関連を図るとともに、印の歴史と表現の多様性について学び、文字文化の視点から書の伝統と文化ならびに生活や社会との関わりについて理解を深める。
6	三 隸書の学習	隸書の成立と歴史の変遷について理解を深める。 代表的な隸書の古典を鑑賞し、時代背景などに関する知的理解を図るとともに、臨書学習をとおして、各古典の特徴を把握し、隸書の効果的な表現の技能を身につけ、各古典の特徴と用筆・運筆の関わりについて理解する。
7		
9	四 草書の学習	草書の成立と歴史の変遷について理解を深める。 代表的な草書の古典を鑑賞し、時代背景などに関する知的理解を図るとともに、臨書学習をとおして、各古典の特徴を把握し、草書の効果的な表現の技能を身につけ、各古典の特徴と用筆・運筆の関わりについて理解する。
10	五 行書の学習	「書道Ⅰ」の学習を発展させ、さまざまな行書の古典を鑑賞し、時代背景などに関する知的理解を図るとともに、臨書学習をとおして、各古典の特徴を把握し、行書の効果的な表現の技能を身につけ、各古典の特徴と用筆・運筆の関わりについて理解する。
11	六 楷書の学習	「書道Ⅰ」の学習を発展させ、さまざまな楷書の古典を鑑賞し、時代背景などに関する知的理解を図るとともに、臨書学習をとおして、各古典の特徴を把握し、楷書の効果的な表現の技能を身につけ、各古典の特徴と用筆・運筆の関わりについて理解する。
12	七 漢字の書の制作	さまざまな古典の臨書や鑑賞をとおして身につけた表現をもとに、臨書学習をとおして、各古典の特徴を図るとともに、作品を制作する。
1	八 仮名の書の学習	平仮名と変体仮名の交え方、連綿や散らし書きなどの、仮名の書のさまざまな表現について学習する。
2	九 漢字仮名交じりの書の学習	詩文の選定、表現形式、用具・用材、全体の構成などを考えながら、感興や意図に応じて作品を構想し、表現を工夫する。
3		